

# 社会資本総合整備計画書

(医療拠点へのアクセス整備による安心・安全なまちづくり)

長野県 駒ヶ根市

(平成28年3月16日 当初)

平成31年1月24日 第1回変更

社会資本総合整備計画

平成31年 1月24日

計画の名称	医療拠点へのアクセス整備による安心・安全なまちづくり																																			
計画の期間	平成28年度 ~ 平成31年度 (4年間)				交付対象	駒ヶ根市			重点計画																											
計画の目標	<p>当市では、総合計画において「愛と誇りと活力に満ちた駒ヶ根市」を将来都市像とし、「健康で安心して暮らせるまちづくり」を政策の大綱のひとつに掲げている。本計画は、地域の中核病院であり救急指定病院である昭和伊南総合病院と中心市街地までのアクセス道路を整備することで交通ネットワークの形成を図り、搬送時間短縮による緊急医療体制の改善を行なうものである。さらに、本市は東海地震の地震防災対策強化地域及び南海トラフ地震防災対策推進地域に指定され、いずれも甚大な被害が予想されているとともに、伊那谷断層帯と呼ばれる活断層分布域にあることから、地震に対する防災機能の向上が急務となっている。</p> <p>昭和伊南総合病院は災害時の医療拠点でもあり、アクセス道路整備により災害時の交通ネットワークの構築をし、併せて災害に強い安心・安全のまちづくりを進める。</p>																																			
計画の成果目標（定量的指標）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 駒ヶ根市役所(防災拠点)から昭和伊南総合病院(第3次緊急医療施設、災害時医療拠点)までの時間短縮効果(アクセス時間短縮率)を30%短縮させる。</li> <li>2 医療に対する市民の満足度を上げる。</li> <li>3 防災機能に対する市民の満足度を上げる。</li> </ol>																																			
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H28当初)</th> <th>(H30末)</th> <th>(H31末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 医療拠点へのアクセス時間短縮率(%) (Σ [要素事業の現道での所要時間(分)] - Σ [要素事業供用による所要時間(分)]) / Σ [要素事業の現道での所要時間(分)] × 100</td> <td>0 % 短縮率</td> <td>30 % 短縮率</td> <td>30 % 短縮率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 駒ヶ根市市民満足度調査による「専門医療や救急医療をいつでも受けることができる」の市民満足度ポイント (pt)</td> <td>2.90 pt</td> <td>2.90 pt</td> <td>3.00 pt</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 駒ヶ根市市民満足度調査による「地域に安心できる防災の仕組みがある」の市民満足度ポイント (pt)</td> <td>3.20 pt</td> <td>3.20 pt</td> <td>3.25 pt</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H28当初)	(H30末)	(H31末)	1 医療拠点へのアクセス時間短縮率(%) (Σ [要素事業の現道での所要時間(分)] - Σ [要素事業供用による所要時間(分)]) / Σ [要素事業の現道での所要時間(分)] × 100	0 % 短縮率	30 % 短縮率	30 % 短縮率		2 駒ヶ根市市民満足度調査による「専門医療や救急医療をいつでも受けることができる」の市民満足度ポイント (pt)	2.90 pt	2.90 pt	3.00 pt		3 駒ヶ根市市民満足度調査による「地域に安心できる防災の仕組みがある」の市民満足度ポイント (pt)	3.20 pt	3.20 pt	3.25 pt	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																																	
	(H28当初)	(H30末)	(H31末)																																	
1 医療拠点へのアクセス時間短縮率(%) (Σ [要素事業の現道での所要時間(分)] - Σ [要素事業供用による所要時間(分)]) / Σ [要素事業の現道での所要時間(分)] × 100	0 % 短縮率	30 % 短縮率	30 % 短縮率																																	
2 駒ヶ根市市民満足度調査による「専門医療や救急医療をいつでも受けることができる」の市民満足度ポイント (pt)	2.90 pt	2.90 pt	3.00 pt																																	
3 駒ヶ根市市民満足度調査による「地域に安心できる防災の仕組みがある」の市民満足度ポイント (pt)	3.20 pt	3.20 pt	3.25 pt																																	
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	645.2	百万円	A	645.2	百万円	B	0	百万円	C	0	百万円	D	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0.0%																				

交付対象事業

A1 道路事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
5-A1-1	街路	一般	駒ヶ根市	直接	駒ヶ根市	(都)3.5.12号中割経塚線	街路事業 L=347m	駒ヶ根市						645.2	
計													645.2		

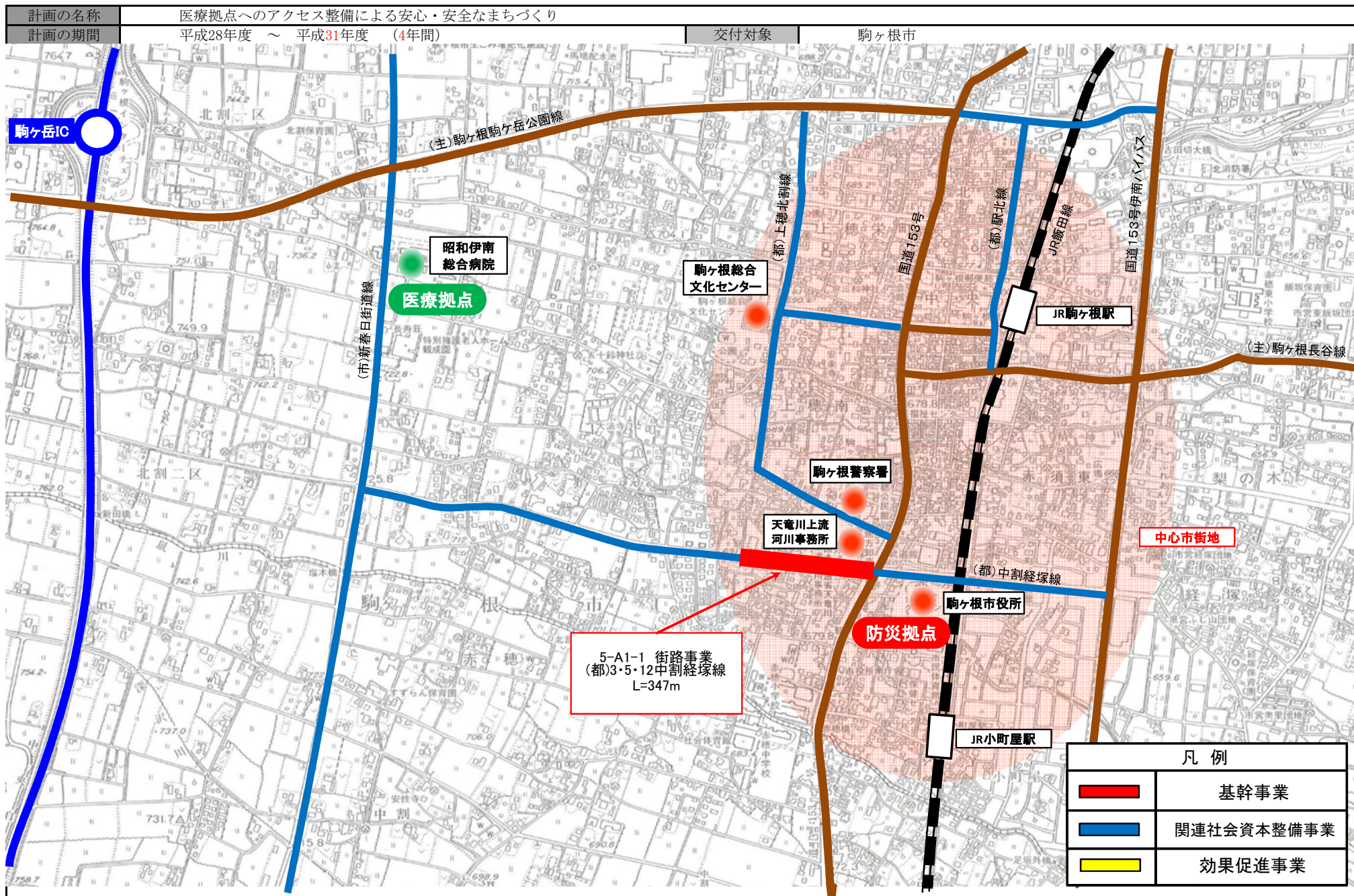
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H28	H29	H30				
計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果														

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H28	H29	H30				
計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果														

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計													0.0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	85,690,000	159,711,000	68,640,000		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	85,690,000	159,711,000	68,640,000		
前年度からの繰越額 (d)	0	41,690,000	58,282,000		
支払済額 (e)	44,000,000	143,119,000	76,511,000		
翌年度繰越額 (f)	41,690,000	58,282,000	50,411,000		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%		
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称 : 医療拠点へのアクセス整備による安心・安全なまちづくり

事業主体名 : 駒ヶ根市

チェック欄

I. 計画の必要性及び目標の妥当性	
①上位計画との整合性	
1)上位計画の政策目的と整合している。 1 駒ヶ根市総合計画 2 駒ヶ根市都市計画マスタープラン	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	
1)地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
II. 整備計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	
1)整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
②定量的指標の明瞭化	
1)定量的指標の明確化が図られている。	○
③目標と事業内容の整合性	
1)目標と事業内容の整合性が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	
1)情報公開による合意形成が図られている。	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
1)地域住民に大きな期待がある。	○